ふかまちのまど

第173号　〇八年一〇月一日
発行元　深町町内会連合会
連絡所　63－3882

町内会連合会活動報告

深町敬老会（九月十五日）

町内会連合会
会長　秋本賢治

恒例の深町敬老会を、敬老の日に深小学校屋内運動場で十時三十分から開催しました。

七十五歳以上（敬老者）の長寿の方々百五十三名、この内五十名の参加が有りました。

敬老者記念写真撮影に始まり、お祝いの言葉、来賓祝辞を頂き、来賓紹介、引き続き祝宴に入りました。

祝宴中の演芸発表では、幼稚園児・小学校四年生・女性会・チームラブラブ（サンライズ大池）によるそれぞれ元気よく楽しい踊りの熱演。招待者・敬老者・町内有志によるカラオケ熱唱。何度もアンコールがあった如水館高校のブラスバンド、千鶴先生の指揮で素晴らしい演奏を披露してくださいました。

最後に全員の合唱で締めくくりました。

敬老者の皆様には、末永くお元気でお過ごし頂くようお祈りしています。

参加者、関係者の皆様には大変有り難うございました。

三原市民体育大会

体育部長　麓　正徳

今年も次の通り開催されます。選手は上位進出を目指して懸命に頑張りますので、町民の皆様、たくさんの力強い応援をよろしくお願いします。

日時　十月十二日（日）九時～
会場　三原運動公園
練習日及び時間
　十月六（月）・八（水）・
　十（金）日
　十九時～二十一時
練習場所　深小学校

※当日は、深～運動公園間の無料バスが往復運行されますのでご利用ください。
（最寄りのバス停で乗降してください）

往　深下組発　七時四〇分
復　運動公園発　十五時三〇分

▲▲

深小だより

「実りの秋」

深小学校長　山本惠司

四方を山に囲まれ、のどかな田園風景が広がる深の町。その深の町を、北から東に向けて流れる藤井川の清らかな水は、この地の「米作り」には欠かせない大切なものです。

三月、一冬越した田圃の畦道には、つくしや蕗の薹が顔をのぞかせ、春の到来を告げます。

五月になると、深の林道に、山ツツジが鮮やかなピンクの彩りを見せ、田圃が黄色い菜の花でいっぱいになる頃から、田圃の準備が始まり、種もみを蒔き、苗を育てます。

五月の下旬から六月上旬には、深の町のあちこちに、紫や黄色の「菖蒲」が咲き乱れます。この時期になると、いよいよ田植えの準備です。育苗ハウスから田圃まで稲の苗を運び、田植機に乗せたら田植えの始まりです。

六月から七月にかけて、苗は少しずつ大きくなっていきます。しかし、この頃に農家の人たちが、気を付けなければならないことがあります。

まず一つ目は、水の管理です。田圃の中の水の量が、多すぎても少なすぎてもいけません。だから、いつも田圃を見回り、水の量を調整するのです。そこには、どの田圃でも豊かな実りを迎えられるようにと考え出された、農家の人たちの知恵があるのです。

二つ目は、草取りです。田圃の表面や畦の辺に生えた草を、手や草刈り機を使って取り除きます。

三つ目は、追肥です。元肥が切れてきた頃を見計らって、肥料をやります。

そして、四つ目が、害虫防除です。稲の大敵である「いもち病」や「カメ虫」等の予防をするのです。

こうした作業を、この時期に何回か行います。時々、雨上がりの日には、白鷺が田圃の中に入り、えさを捕っていることがあります。緑一色の絨毯のような田圃の中に、真っ白な白鷺が歩いている光景は、のどかな深の町そのものです。

八月にもなれば、稲はしだいに大きくなり、穂が出始めます。それから、少しずつ穂が実り始め、垂れ下がってきます。

九月に入り、深の田圃風景は、濃い緑色から実りを予感させる黄緑色に変化していきます。やがて、稲刈りを迎える頃には、ずっしりと実の詰まった稲穂が、深く頭を垂れ、秋の日を受けて黄緑色から更に黄金色へと輝きを増します。

畦の所々に、鮮やかな深紅の曼珠沙華が見られる頃、稲刈りはもうすぐです。爽やかな秋の風を受けて、いよいよコンバインの登場です。

田植えから十九週間後、豊かに実った稲は、ゆっくり刈り取られていきます。そして、こうした営みが、毎年毎年同じように繰り返されていくのです。

自然の恵みを受けながら、「米作り」によって、四季折々に姿を変えるこの深の町は、児童たちが生まれ育った『大切な故郷（ふるさと）』なのです。▲▲

「ふかまちのまど」　ホームページのアドレスは
http://www.jcat.ne.jp/~fuka/top.html

子ども会だより

市子連球技大会

子ども会会長　前田真治

九月七日、秋晴れの中、市子連球技大会が開かれました。

ソフトボールは優勝候補の東部連合Bと対戦し一〇対〇

キックベースボールも決勝トーナメントに出場するも強豪チームと当たり、第一試合久井小と対戦し四〇対八、第二試合小坂と対戦し四〇対一

今回で六年生が参加する公式戦は終了しました。応援ありがとうございました。

来年に向けて練習を続けていきます。楽しく一緒に参加しませんか。みなさんと練習できる事を楽しみにしています。▲▲

干川神社秋の大祭のお知らせ

干川神社責任役員　西本一二三

実りの秋をむかえ、氏子の皆様には益々御壮健で御活躍のことと存じます。

平素は干川神社の護持運営について御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本年の秋の大祭は大和町子供神楽団をまねき奉納致します。一年生から六年生で結団され、当日は十二名が参加し奉納して下さいます。

近年子供神楽が人気を呼んでいるそうです。今回おまねきしたのは、地域により文化は異なりますが、深町の子供様にも参考になればと思い奉納して頂きます。

奉納後、餅、菓子をまきますので親子そろって多数お参りをお願い致します。

日時　十月十三日（月）午後六時～
場所　干川神社（境内）

▲▲

深町子どもを守る会

子どもを　みんなで守りましょう

深小の子どもは

○午後四時二十分頃　下校します。

※日によって、異なることがあります。

○近くで、遠くで、みんなで見守りましょう。

○あいさつ、声かけをしましょう。

深町各種団体十月行事予定

◆町内会連合会
▼市民体育大会練習（深小）　六・八・十日
▼市民体育大会　十二日

◆小学校・幼稚園
▼保健指導（幼）　二日
▼英語活動・遠足（幼）　三日
▼体重測定（幼）　七日
▼教育研究会　九日
▼集金日・貯金日・諸雑費集金（幼）・ぴよぴよハウス（幼）　十日
▼英語活動　十七日
▼太鼓本舗かぶら屋来校　二三日
▼テーマタイム　二四日
▼人権の木植樹　二七日
▼おたのしみ会（幼）　三十日
▼竹馬大会・英語活動　三一日

◆如水館中学・高校
▼中・高入試説明会　十二・二六日
▼中間テスト　十四～十七日
（中学は十六日まで）

町内会新規入会者紹介

渡辺　雅也　様（中組仲城講）
松岡　保則　様（中組仲城講）

展望席

神無月、旧暦の十月には全国の神様が出雲大社に集まり、男女の縁結びについて会議を開くとか。いわば神様のサミットということでしょうか。今年七月、「北海道洞爺湖サミット」が開催されましたが、素人目には格別の成果があったようにも思われません。近頃は、結婚しない人が増えていますが、出雲の神様達は成果のある縁結びの会議を本気でしているのでしょうか。

かっては、出雲の神様のお使いとでもいいましょうか、結婚のお世話をされるおじさん、おばさんがたくさんおられました。釣書きを持って、年頃の若い人のいる家庭を訪問して、縁側に座ってお見合いを勧めていました。この人達は、内気で気の弱い者には誠に有り難い縁結びの神様です。いわゆる仲人口に乗せられることもありますが、先ずは確実無難に結婚が出来たと思います。そんな世話をする人が少なくなったのも未婚者が増えた一因かもしれません。

傾向として恋愛結婚が大方のようですが、どんなに好きな者同士でも飽きずに過ごせるのは三年が限度と言われるように、恋や愛はいつかは冷めて行くようです。可愛いエクボも次第にアバタになるのです。年々離婚が増える一因は、愛が冷めた結果なのでしょうか。恋も愛も大切ですが、長い人生、出会った縁や結ばれた縁に感謝し大切にすることが何よりかと思います。

少子化阻止にも、出雲の神様には、より真剣に、男女の縁結びを実践する人材をたくさん育成して頂きたいものです。

深町六年史（最終回）

下組　小林　徳蔵

百四章　バイパスが深を変えた

平成七年八月二十九日、午前十時半から三原市主催で県道尾道・三原線太郎谷バイパスの開通式が行われました。式典終了後、白バイ先導で走り初めがありました。

この道には、中之町から深町間一・二粁を結ぶ幅員十メートルの二車線、登坂車線が付いています。昭和六十二年から九年間の歳月がかかり、総事業費は約二十二億円といわれています。

この日を限りに深地域は七重八重に折れ曲がった「峠」に難渋しなくてよくなりました。

深地域から西の方角へ行けば新幹線三原駅と国道二号線へは車で二十分、東に行けば新幹線尾道駅と国道二号線尾道バイパス、及び在来線山陽線尾道駅と松永駅へは車で三十分で行けます。

さらに山陽自動車道尾道インターまで約十分の距離です。山陽自動車道にのれば新広島空港へは約一時間で到着できます。

太郎谷バイパスの完成は、目の前がパッと明るくなるような出来事でした。広い外の景色に目が開かれました。

百五章　全国高校野球選手権大会は新鮮に動き続ける

如水館高校野球部は平成九年夏、広島県代表として第七十九回全国高校野球選手権大会に出場しました。

続いて平成十年夏、第八十回全国高校野球選手権記念大会へ出場。さらに平成十一年夏、第八十一回全国高校野球選手権大会へと三年連続出場の快挙をなし遂げました。

一年おいて、平成十三年夏にも第八十三回全国高校野球選手権大会に出場しました。

平成十六年春には第七十七回センバツ高校野球大会に出場しました。

如水館高校留学生より　深町のみなさんへ

Rachel　Lee　Barker

わたしのなまえはレイチェルです。１５さいです。オーストラリアのメルボルンからきました。しゅみはサーフィンとサッカーとダンスです。

８がつ２２ににほんにつきました。らいねん１がつ１７にちまでたいざいします。

にほんにいるあいだに、にほんのぶんかとせいかつようしきをたくさんまなびたいです。また、にほんごもいっしょうけんめいべんきょうして、たくさんともだちをつくりたいです。

平成十八年夏、第八十八回全国高校野球選手権大会に出場しました。

このようにして、如水館高校という存在と三原市深町という地名は、全国版となりました。

◆地元、深町熱狂の声援

町内会連合会は町を挙げて声援しました。県道には横断幕が張られ、遠征費のカンパ、応援団の組織など活気にあふれました。広報紙ふかまちのまどには梶谷マサヨさんの歌が掲載されました。（平成十年九月発行）

●如水館賛歌

・五年前　この地に出来し
如水館　県代表として
甲子園にはばたく

・甲子園出場果した　如水館
町一丸となり　善戦祈る

百六章　学園の町深町の風格

つい先日、平成二十年九月十五日、午前十時半から深町町内会連合会主催で敬老会が催されました。

演芸では如水館吹奏楽部の演奏で大いに盛り上がりました。指揮者の外に五十七名による演奏は会場いっぱいに響いて聴衆を魅了しました。深の地に坐して生の吹奏楽が聴けるとは、これ程のぜいたくはありませんでした。

深町地域も変わったなという思いを禁じ得ませんでした。

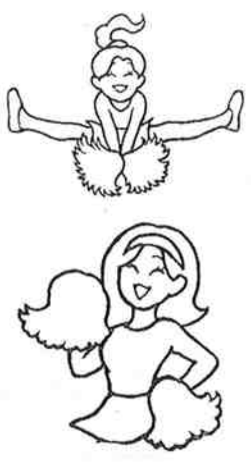
深の子どもたちにも、吹奏楽他たくさんの音楽を生で聴かせられたらいいなあ、とも思ったりしました。

先に述べた梶谷マサヨさんも、主題は異なっていますが、

・二回戦　敗れたりとも　悔い
はなし　若人の未来は
明日に輝く

と歌っておられます。子どもたちの未来に目が注がれています。

チアリーディング日本選手権
如水館高校　第三位
〃　中学　第五位



八月三十～三十一日、東京代々木で開催された「ジャパンカップ二〇〇八チアリーディング日本選手権大会」で、如水館高校は高校の部で第三位、同中学は中学校の部で第五位に入賞と、今年も大活躍しました。

過去何度も優勝等の実績と実力のある同校に、来期の更なる躍進を期待します。▲▲

終章　あとがき

本章をもって深町六年史を終わります。

如水館高校の深町移転の話は、山中学園山中幸平理事長の下組町内会会長宛一通の手紙に端を発しました。内容は、第二グランド建設への協力依頼でした。平成二年七月のことでした。

当時、深では地域活性化の方策で、

①ゴルフ場を誘致する

②流通センターの造成を許す

③第二グランド建設を推進する、

と甲論乙駁のさいちゅうでした。

紆余曲折を経て、平成六年九月如水館高校落成式に招かれ出席しました。地元世話役として感概ひとしお深いものがありました。

ペンを置くにあたり天の時、地の利、人の和に助けられたことの多さに改めて気づきました。感謝の気持ちでいっぱい

長い間のご愛読有り難うございました。（了）▲▲

短歌・俳句・詩

中組　仲峠講　竹内ひろみつ

呆然とテレビに見入る秋の夜
　総理大臣投げ出す会見

まだ下がれ
　もっと下がれとガソリンの
　表示横目にバイク走らす

この命燃え尽きるまで詩（し）を詠（よ）んで
　わが入選歌（にゅうせんか）の載る新聞見つつ　▲▲

ピッコロだより

（知的障害者授産施設）

ピッコロ祭り開催予定

（十一月九日（日））

ハクサイ、キャベツ等の野菜の苗が完売し、秋、冬用の花苗に取りかかっています。パンジー等の苗の発育も順調で、今にハウスの中は、多彩の花で満開になることでしょう。その日が来るのを私たちも楽しみに作業をしています。その全盛期を見計らってピッコロ祭りを計画しています。詳細については十一月号でお知らせします。楽しみにお待ち下さい。その頃の花は、パンジー、ビオラ、ストック、サイネリア、ノースポール、葉ボタン等です。▲▲

多重債務

思い悩む前に、まず相談を

◆四つの解決方法

○任意整理
裁判所を使わず、当事者間の話し合いにより柔軟な和解交渉をし、解決を図る。

○特定調停
簡易裁判所に調停を申し立て、調停委員が仲介。公平で、とにかく費用が安い。

○個人版　民事再生
住宅などの財産処分をせずに生活を立て直す。

○自己破産
返済の見込みが無い場合、地方裁判所に破産を申し立て、早期に借金から解放される。

★各相談窓口は、法律専門家と連携し解決にあたります。

◆県内相談機関の連絡先

【県の相談窓口】
広島県生活センター（消費生活課）
082－223－8811
尾三地域事務所
0848－25－2011

【市町の消費生活相談窓口】
三原市　消費生活相談室
0848－67－6410

【国の相談窓口】
中国財務局
多重代務債務相談窓口
082－221－9206

【多重債務の法律相談窓口】
広島弁護士会
法律相談センター福山
084－973－5900
広島司法書士会
福山総合相談センター
084－926－4654

【資力の乏しい方に対する多重債務法律相談窓口】
日本司法支援センター
「法テラス」広島
050－3383－5485

【貸金業者の登録確認、苦情相談窓口】
中国財務局　金融監督第三課
082－221－9221
広島県　金融課
082－513－3321

【ヤミ金融・悪質な貸金業者の取り締まりに関する相談】
広島県警　悪質商法相談電話
082－221－4194

【貸付自粛登録申請、不実の広告等への苦情相談】
日本貸金業協会広島県支部
082－546－0136

※広島県多重債務者対策協議会発行の「多重債務はほっとけん」カードより抜粋　▲▲